

福島県須賀川市の神田産業（株）が ザンビア国で医療アクセス改善に向けて 実証を開始

～強化段ボール製『DOKODEMO CABIN』で母子保健・災害対応に貢献～

独立行政法人国際協力機構（以下：JICA）は、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」（JICA Biz）2025年度公示において、神田産業株式会社（代表取締役：神田雅彦、本社所在地：福島県須賀川市）が提案した「ザンビア国ハニカム段ボール製組立・移動型医療室に関するビジネス化実証事業」を採択しました。

神田産業株式会社はこれまで基礎情報収集等を目的とする JICA Biz ニーズ確認調査で採択され、2024年6月から1年間、調査を実施し、今回はその結果を活用したビジネス化実証事業に応募し、採択されました。

2026年4月から開始するビジネス化実証事業では、『DOKODEMO CABIN』（大きさを現地に合わせて設定可能）を現地に設置して耐候性等の実証や、現地生産や継続的な提供モデルの構築など、ザンビアでの本格的な事業化を検証します。なお、本事業には、東邦銀行も調査団員として参画し、地域金融機関としての知見から、ビジネス化の実現に向けてサポートします。

本件に関して、神田産業株式会社へのインタビューが可能ですので、取材をご検討ください。取材をご希望の場合は、裏面お問合せフォームからご連絡をいただければ幸いです。

◇ ザンビアの課題解決に向けた取り組み

ザンビアの農村部では、近隣に医療施設がない、医療機関までの移動手段が確保できない等といった理由で、妊産婦や乳幼児が受診機会を失うケースが多くみられます。神田産業株式会社は、軽量で可搬性に優れ、マラリア防止のための防蚊加工を施した段ボール製組立型医療室『DOKODEMO CABIN』の必要地域への提供を目指します。この医療室は以下の用途で活用でき、受診機会の向上につながることを期待されます。

- ・ マタニティハウス（出産待機室）
- ・ ヘルスポスト（簡易診療所）
- ・ 予防接種・母子健診のスペース
- ・ 災害時の一時医療室・感染症対応室



農村部での母子保健の改善を目指し、保健環境整備に貢献していきます。

◇中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）とは

中小企業・SDGs ビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化を同時に実現することを目指す取り組みです。全国の企業に広く活用していただくことで、地域経済の活性化にも寄与することが期待されています。

今回の2025年度公示では、全国で62件が採択され、そのうち東北地域では3件（神田産業株式会社 [福島県]、株式会社C&A [宮城県]、株式会社東部環境 [宮城県]）が採択されました。

【参考情報】

- ・ 中小企業・SDGs ビジネス支援事業について（JICA 公式）
https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html
- ・ 2025年度採択結果（ニュースリリース：62件採択）
https://www.jica.go.jp/information/press/2025/20251222_11.html



【本件に関する問い合わせ先／お申込み先】 JICA 東北 市民参加協力課 担当：吉岡・川崎

入力フォーム：<https://forms.office.com/r/HsCRWCg7pw>

TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090



～本ビジネスが達成に貢献する SDGs～

